

皆さん、こんにちは。

毎日の仕事ご苦労様です。

本日は今年3回目の安全大会と12月度の安全協議会にご参加頂きまして有難う御座います。

また日頃より現場での積極的な安全活動に対して深く感謝しています。

しかし、今年の安全成績を振り返ってみますと、休業災害は無いものの、不休災害が三件発生しているのも事実です。

三件の災害とも、本人はまさかと思う、想定外の災害だったと思います。

基本的に災害は想定外から起きると思います。

その為に、現場で毎日、危険予知活動、KYを実施しています。

今回、怪我をされた人は二度と同じ災害を起こさないと思いますが、災害を起こしていない人達も他人事ではなく自分だったらどうするかをよく考え、これからの災害防止に役立てて下さい。

そういう意味で本日、この後、安全表彰される方たちは一年以上無災害を継続中で、他人事ではなく自ら考え、災害事例を役立てている方々です。

表彰される皆様、本当におめでとうございます。

今後も引き続きなお一層の安全活動に期待しています。

さて、先日、私の好きな人で斉藤一人さんという方がいます。

その人が書いた“因果の法則”という本があります。

難しい話ではありません。

世の中には原因があって結果があるという話です。

簡単に言うと蒔いた種、原因ですね、によって収穫する物、結果が違うという話です。

きゅうりの種を蒔いて、トマトができることはありません。

逆に、トマトの種を蒔いて、きゅうりができることもありません。

きゅうりの種を蒔いたらきゅうり、トマトの種を蒔いたらトマトができます。

ほかの人の悪口を言えば、ほかの人から悪口を言われ、ほかの人に良くしたら、ほかの人から良くされる。

直接ではなくても、間接的に良いことがおきます。

そこで、皆さんにお願いがあります。

まず、大工さんをお願いします。

勿論、自分の仕事が優先ですが、次の仕事の解体屋さんが、どうしたら解体をしやすいかを考えて建て込みをしてください。

そして、解体屋さんも、自分の仕事が優先ですが、次の仕事の倉庫での作業が、どうしたらしやすいかを考えて解体、搬出をしてください。

そして、倉庫の作業は、どうしたら大工さんが材料を使いやすいかを考えて準備してください。

こうして、次の人のことを考え、思って作業を進めていくと、必ず、自分に返

ってきます。

これが因果の法則だと思います。

この本のタイトルは、人生が楽しくなる因果の法則です。

みんなで楽しく仕事ができるように顔晴りましょう。

本日は本当に有難う御座いました。